



## リベンジの旅 下呂・高山編

### リベンジは、入浴可能な1時間

### お蕎麦・日帰り入浴・居酒屋のはしご旅



数年前、岐阜県の下呂温泉に行った時のことです。

下呂温泉を見下ろせる老舗旅館の日帰り入浴は叶いませんでした。

その老舗旅館は、日帰り入浴が13時から1時間でした。

全国的にお天気が悪かったある週末、リベンジの旅の旅に向かいました。

**老舗旅館に12時30分に着き、待機後入浴をする。**

#### (その1) 朝5時に出発、最初に向かったところは、そば店「仲佐」

下呂温泉まで、直接向かうと、車で6時間程度かかります。

入浴前の腹ごしらえに、蕎麦の名店「仲佐」に11時8分に到着。開店(11時30分)

待ちのお客3組目でした。

この店の推しは「蕎麦三昧」。出てきてびっくり、蕎麦三昧なのに、蕎麦は1枚でした。

蕎麦以外の二品が付いた、「蕎麦三昧」でした。

蕎麦の見た目の食感は、だったん蕎麦と、飯山の富倉そばを併せた感じでした。

当然ながらそばのお味は良かったです。

なお、出汁のしょう油が重く(濃く)感じます。(寒い地域性を感じます)

#### (その2) リベンジの老舗旅館に駐車場に一番乗り。0時15分

市街地から急こう配を800m走行し駐車場へ。

13時には、日帰り入浴客が10人以上並びました。人気が伺えます。

入浴料は1人1000円(タオル付)。受付では、宿泊同様に記帳を求められます。

男性入浴者6名が、全員露天風呂へ直行。(時間との戦いでもあります。)

下呂温泉は、湯あたりしやすい温泉です。肩までの入浴は、ほどほどに。

#### (その3) 宿泊先の高山市に移動。リベンジ終え、居酒屋巡りのスタートです。

高山市の飲み屋街は、徒歩10分圏内に居酒屋がひしめきあっています。

この条件なら「はしご酒」に挑戦。お店の選択を、太田和彦さんBS11番組

ふらり旅 いい酒いい肴 高山編の4店舗から、選びます。

「樽平」は、過去訪問しており、パス。残り3件をどこからスタートするかに悩みます。

まずは、開店時間の早い「あじ平」へ。17時スタートの予約も取れました。

「あじ平」は、刺身や魚料理を提供するが、リーズナブルお店です。

この店で、独酌する先客(40歳前後男性)がおり、太田信者と聞き、意気投合。

太田和彦さんのお店訪問談義に花が咲きました。

「あじ平は大分市の「こつこつ庵」に似ていますね。」とロダン君がいうと、

「確かにそうですね」と言われました。先客は、スマホに全国地図に訪れた店記録、

表示の色で、そのお店の評価の印象を残していました。(国盗りゲームのよう)

先客は、5年間で東京・京都を除き全国制覇。ロダン君は、先客に脱帽でした。

#### (その4) 先客とはしご酒。二件目で・・・。

先客は二件目に「本郷」を予約してるとこの。ついて行くも、ロダン君は無理とのこと。

ロダン君は、次の「あんらく亭」に向かいました。大将は、同志社大学卒、考古学者の経歴を持つ。ロダン君は、ここでもカウンター客と意気投合。

(NHK「真田丸」タイトル文字を左官で書いた人が家族で飲んでいました。)

高山が好きで移住した女性客、元教員で白川郷勤務時代の苦労話なども聞け、

大いに盛り上がりました。9時を過ぎると、「本郷」で別れた先客が来店、合流し

大盛り上がりでした。「あんらく亭の常連は22時過ぎに来ますよ。」と言われるも

17時から飲んでいたために、お店を後にしました。

翌日、久々の二日酔い。 まだ、リベンジしたい旅先はたくさんあります。

万代つばさグループ代表  
発行者 八百板 誠

( 税理士法人 万代つばさ 代表社員税理士 )  
( 八百板誠行政書士事務所 )

事務所 : 新潟市中央区下大川前通7ノ町2230番地 (8階建の1階奥です)

025(228)4697

編集者より 記事は独自の調査分析により書き上げております。

明示、黙示にかかわらず、発行者(当事務所)がこれを保証するものではありません。